

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	210	作成者	林和子

【科目の到達目標】

既製服のデザイン・縫製の一貫した知識と技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

素材の多様化、縫製機器の発達に伴い、デザイナーにとって新しい素材、機器に通じていることはとても重要である。創新しい縫い方や異素材を取り入れ、縫製工程を分析し、作品を仕上げることによって既製服縫製のテクニックの修得を目指す。

デザイン、製図、シルエットチェック、仕様書、工業用パターン作成、縫製の実習。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	●プレタ展作品	61・62・63 ●上田学園コレクション作品
3・4		64・65・66
5・6		67・68・69
7・8		70・71・72
9・10		73・74・75
11・12		76・77・78
13・14		79・80・81
15・16		82・83・84
17・18		85・86・87
19・20		88・89・90
21・22		91・92・93
23・24		94・95・96 ●各専攻課題縫製
25・26		97・98・99
27・28		100・101・102
29・30	●テーラードジャケット	103・104・105
31・32		
33・34		
35・36		
37・38		
39・40		
41・42		
43・44		
45・46		
47・48		
49・50	●脇ゴム入リスカート	
51・52		
53・54		
55・56		
57・58		
59・60	●革/ベルベットの縫製方法	

【成績評価方法】

課題作品 10点の評価60 %、 期末試験 30% 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	パターンメイキングⅢ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】 ドレーピングによる衣服の立体的な把握と、基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、新しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材になるよう技術を習得する			
【科目の概要】 平面製図、CADなどパターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はとても重要である。各種デザインパターンへの理論的に展開し、トワールチェック後、ファーストパターン作成までの時間短縮に努める。サイズ展開の基本をグレーディング実習により体験する。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	1本ダーツ・2本ダーツスカート・サーキュラースカートの中から1型選び原型ひく パターン作成		
2	創作スカート パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成		
3・4	創作スカート トワールチェック・マスターパターン修正・ファーストパターン作成・縫製仕様書作成		
5・6	創作子供服 デザイン出し・パターン作成・縫製指示書作成		
7・8	創作子供服 トワール組み立てチェック・補正・フルパターン作成・縫製仕様書作成		
9・10	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成		
11・12	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) トワールチェック・マスターパターン修正・ファーストパターン作成		
13・14	ジャケット(4面体プリンセスライン・テーラードカラー・2枚袖) 表襟・見返し展開パターン作成・縫い代付きパターン・縫製仕様書作成		
15・16	メンズジャケット・創作デザイン マスターパターントレース・デザイン展開・パターン作成・トワール作成・縫製指示書作成		
17・18	メンズジャケット・創作デザイン トワール組み立てチェック・縫製仕様書作成		
19・20・21	グレーディング 概論・スカート・身頃		
22	創作デザイン・トータルコーディネート デザイン出し・パターン作成・縫製仕様書作成		
23・24	創作デザイン・トータルコーディネート パターン作成・トワール組み立て		
25・26	創作デザイン・トータルコーディネート トワール組み立てチェック・補正		
27・28	創作デザイン・トータルコーディネート 補正・フルパターン作成		
29	創作デザイン・トータルコーディネート 補正・フルパターン作成・縫製仕様書作成		
30	前期試験		
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 山路俊美「図解・紳士服の型紙の作り方」 相尾純子「パターングレーディング」			
【教材・教具】 製図用具一式 トワール組用具一式			

科目名	パターンメイキングⅢ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	渡辺 杉子
【科目の到達目標】			
基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、工業用パターンの作成、さらに既製服のサイズ展開の知識と技術を学ぶ。			
【科目の概要】			
ファッション産業において海外に生産を移行している現代、オリジナルデザイン、シルエットを表現できる技術は、確かなパターン力によるところが大きい。本授業では基本パターンの製図からシルエットチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへの理論的展開を学ぶ。さらに、不特定多数の既製服購入者に対し、デザインイメージを損なうことなく、異なるサイズの商品を提供するために、基本のパターンから効率よくサイズの異なるパターンを作成する知識と技術を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ	後期		
1・2 3～8	アンダーウェア パターン作製、縫製		
9～13 14～26	創作作品 ジャケットプリンセスライン・ポケット口切替 作図 〃 パターン&トワール組 〃 表地(表襟、見返し、ポケット展開) 〃 裏地展開 芯地パターン 他 〃 工業用パターン縫代付け 〃 襟のバリエーション		
27～32	フォーマルドレス オリジナルデザイン		
33～38	ブラウス トワール組み&パターンチェック ファーストパターン作製		
39～48	ラグラン原型からの展開 創作オリジナルデザイン オリジナルデザイン製図 トワール組み&パターンチェック ファーストパターン作製		
49～52	創作ドレス 〃 パターン&トワール組 ファーストパターン作製		
53～59	メンズジャケット 〃 パターン&トワール組 ファーストパターン作製 ファーストパターン作製		
60	後期試験		
【成績評価方法】			
提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】			
山路俊美『紳士服製図・型紙の作り方』 オリジナルプリント			
【教材・教具】			
実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等 方眼定規・模造紙・はさみ・カッター・鉛筆・など			

科目名	ドレーピングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	尾崎光恵
【科目の到達目標】 専攻に応じてレディス・キッズ・メンズのそれぞれの体型を理解し、フィッティング出来るようになる。 地の目を正しく通し、人体の凹凸に合わせ、基本的なアイテムのシルエットを形作ることが出来る。 ドレーピングで作られた布地の形を平らにのばし、平面パターンに作り変えることが出来る。			
【科目の概要】 シルエットを読み取る、ボディに基準となるテープを正しくマークする、トワールの見積、 トワールに必要な基本線を正しく引く、地の目を正しい位置に通す 以上を理解し、これらを修得。 ブラウス・ジャケット・コート等のアイテムを通して、基本的なドレーピングの技法とデザイン表現を学ぶ。 パターンの基本的なチェック方法も合わせて学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ			
	デザイン・パターン専攻	キッズ専攻	メンズ専攻
1・2	課題1 基本を復習 それぞれのボディで身頃のドレーピング 2面体		
3・4 5・6 7・8	課題2 パネルライン(ショルダー・プリンセス)のある4面体ジャケット (ショールカラー・1枚袖)		
9・10 11・12 13・14	課題3 テーラードカラーの3面体ジャケット (1枚袖から2枚袖)		
15・16 17・18 19・20	課題4 ギャザーの入った ラグラン袖のブラウス	課題4 ギャザーの入ったラグラン袖の ワンピースorブラウスorコート	課題4 ラグラン袖のコート
21・22 23・24	課題5 ビスチェ	課題5 パンツ	
25・26 27・28	課題6 イブニングドレス	課題6 写真からセレクトしたフォーマルウェア	
29・30	試験		
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 『ドレーピングⅠ』上田安子服飾研究所 2024年3月 『立体式』			
【教材・教具】 ボディ(レディス、キッズ、メンズ)、トワール、シルクピン、ピンクション(手首に装着出来るもの) はさみ(裁断はさみ、小型はさみ)、肩パッド、胸パッド、05cm黒綿テープ、 髷糸、メリケン針、指ぬき、実寸用製図用具、筆記用具、模造紙 ※1.0～1.5cm幅の接着面テープ			

科目名	ドレーピングⅡ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺 杉子

【科目の到達目標】

各種デザインのディテール、シルエットを表現するテクニックを習得。
服のフォルムに対しての感性を高める。

【科目の概要】

ボディを使用しての立体裁断。
トワールを使用し立体によるデザイン表現を指導、
正確にパターンに落とし込めるよう指導。

【授業計画】

90分/コマ

1・2	ドレーピング概論
3・4	バックにフリルのあるスカート
5・6	カウルネックの入ったブラウス
7・8	
9・10	ツイストドレープのブラウス
11・12	半袖オリジナルデザイン
13・14	ショールカラージャケット
15・16	ショルダー切り替え4面体
17・18	1枚袖→2枚袖
19・20	
21・22	ドレープ襟のコート
23・24	
25・26	創作作品
27・28	
29・30	前期試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

オリジナルプリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションドローイングⅢ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画

90分/コマ

前期

後期

1・2	ヌードボディの表現	16	画材表現 3(パステルの使い方)
3・4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	17・18	アイテム画の表現 1(ボトムス)
5・6	着装表現 1(男性的ディテール表現)	19・20	アイテム画の表現 2(トップス)
7・8	着装表現 2(女性的ディテール表現)	21・22	メンズ表現
9・10	着装表現 3(その他の応用表現)	23・24	キッズ表現
11・12	画材表現 1(ガッシュの使い方)	25・26	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)
13・14	画材表現 2(マーカーの使い方)	27・28	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)
15	画材表現 3(パステルの使い方)	29・30	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	60	作成者	林和子

【科目の到達目標】

多様化するファッション業界の現状とマーケットのあり方を分析し、アパレル企画を立案する。
合わせて、分析力・発想力・表現力・計画性などを身につける。

【科目の概要】

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンドなどをプラスして企画を立案する。

【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	上田学園コレクション企画
2	コンテスト応募1	17	デザイン発想1 演習1
3	コンテスト応募2	18	デザイン発想1 演習2
4	コンテスト応募3	19	デザイン発想1 演習3
5	ブランド企画1	20	プレゼンテーション発表
6	ブランド企画2	21	デザイン発想2 演習1
7	ブランド企画3	22	デザイン発想2 演習2
8	ブランド企画4	23	デザイン発想2 演習3
9	ブランド企画5	24	プレゼンテーション発表
10	企画プレゼンテーション発表	25	デザイン発想3 演習1
11	ポートフォリオ作成1	26	デザイン発想3 演習2
12	ポートフォリオ作成2	27	デザイン発想3 演習3
13	ポートフォリオ作成3	28	プレゼンテーション発表
14	上田学園コレクション企画	29	課題 まとめ
15	試験	30	試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『スタイリングブック』 高村 是州グラフィック社 (1993/4/1) プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 描画用具 PC

科目名	コンピュータ演習Ⅲ-C	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	安田圭織
【科目の到達目標】			
アパレルCADを利用して各自がCADを理解し、ブラウスやジャケット、パンツの工業用パターンを作成できる。 各ソフトを利用し、仕様書・指示書をパターンに合わせ必要な内容を作成できる。 イラストレーター&フォトショップのソフトを使いこなし、ポートフォリオなどを作成できる。			
【科目の概要】			
アパレルCAD (Computer Aided Design)とはコンピュータによる「パターン製作」などを行う機械、あるいはシステムのことを言い、時代に即した「アパレル生産」を極めるためには不可欠なものである。パタンナーはそのシステムを理解し、利用できる技術を身につけなければならない。アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引き、それに伴う仕様書などの書類を作成するための利用手順を修得する。			
【授業計画】 90/コマ	前期	【授業計画】 90/コマ	後期
1	自己PR表作成 ブランドロゴ作成	31	ポートフォリオ作成(ブレタ作品まとめ)
2	デザイン画・イメージマップ作成(Photoshop復習)	32	〃 Photoshop&Illustrator復習
3	〃 テキスト柄作成	33	〃
4	〃	34	〃
5	ブラウス 縫製仕様書 ハンガーイラスト作成	35	ボトム創作(上コレ作品に変更可)
6	〃 パターン作図(表地、裏地、芯地)	36	〃 縫製仕様書 製図(表地、裏地、芯地)
7	〃 パターンチェック 情報入力 縫代付け	37	〃 パターンチェック 情報入力 縫代付け
8	〃 マーキング 縫製指示書	38	〃 マーキング 縫製指示書
9	〃	39	〃
10	〃	40	〃
11	〃	41	〃
12	〃	42	〃
13	〃	43	〃
14	〃	44	〃
15	〃	45	アイテム表作成
16	〃	46	〃 Illustrator応用
17	ジャケット 縫製仕様書 ハンガーイラスト作成	47	〃 ハンガーイラスト各アイテム一覧表作成
18	〃 パターン作図(表地、裏地、芯地)	48	〃 エクセル表作成 画像加工Photoshop
19	〃 パターンチェック 情報入力 縫代付け	49	デザインジャケット創作
20	〃 マーキング 縫製指示書	50	〃 縫製仕様書 製図(表地、裏地、芯地)
21	〃	51	〃 パターンチェック 情報入力 縫代付け
22	〃	52	〃 マーキング 縫製指示書
23	〃	53	〃
24	〃	54	〃
25	〃	55	〃 * デモンストレーション
26	〃	56	〃 3Dソフト(CLO)で作品を表現
27	〃	57	〃
28	〃	58	〃
29	トレース 練習	59	〃
30	まとめ	60	まとめ
【成績評価方法】			
提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する			
【教科書・参考書】			
コンピュータ演習 * アパレルCAD *			
【教材・教具】			
プリント配布 メモリフラッシュ 筆記用具			

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	相馬成男
【科目の到達目標】専門学校では注文服(オートクチュール)作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服(プレタポルテ)が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を目指す。			
【科目の概要】国内繊維産業は長年の厳しい国際競争の中で、①高機能・高性能繊維、②高品質・高感性の素材、③精緻な縫製技術の3点が強みとしてあげられているが、衣料品の輸出は先進国の中で極めて少ない。一方で持続可能な開発目標(SDGs)達成が掲げられており、これら現状認識をしながら、アパレル企業が行う技術的業務の基礎知識をテキスト、パワーポイント及び動画と適宜配布資料を用いて講義を進める。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		
第1週	第1章 アパレル産業の歴史と変遷		
第2週	第11章 世界と日本の繊維生産 第2章 アパレル製品の商品企画		
第3週	第3章 アパレル製品の副資材 - 1		
第4週	第3章 アパレル製品の副資材 -2		
第5週	各論 第3章 スポーツウエア		
第6週	第4章 アパレル製品用材料の 試験と検査		
第7週	第5章 アパレル製品の縫製 と二次加工		
第8週	各論 第4章 下着(インナーウエア) 各論 第5章 靴下		
第9週	第6章 アパレル製品の検査 と品質管理		
第10週	第7章 アパレル製品の安全・安心		
第11週	各論 第1章 紳士服 -1		
第12週	第8章 アパレルの表示と関連法規		
第13週	第9章 アパレル製品の洗濯 とメンテナンス		
第14週	第10章 アパレル製品の品質管理 と消費者対応		
第15週	各論 第1章 紳士服 -2 各論 第2章 婦人服 総復習 経済産業省,環境省,消費者庁情報		
【成績評価方法】 毎回講義後の課題(宿題)の評価:50%、期末試験:40%、授業態度:10%			
【教科書・参考書】 編集:一社団法人 日本繊維技術士センター、『業界マイスターに学ぶ「アパレルの基礎知識」』、 発行所:金壽堂出版有限会社、発行日:2020年7月3日			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 60% 演習 40 %
時間数	30	作成者	福田新之助

【科目の到達目標】

西洋美術史を学ぶことによって、国々の歴史・風土・民族・宗教や考え方を知り、日本との違いを把握できるようになる。そのうえで、ファッションビジネス界に対応出来る人としての基礎的教養の基盤形成を目標とする。

【科目の概要】

紀元前より1900年代まで、歴史の変遷と造形様式、代表的な作品や作家を通じて時代精神を読み取る。
また宗教、気候、民族を踏まえながら、その作品の成立意義を知るように授業は進行する
最終的にはアーツ&クラフツ周辺のイギリスと、アールヌーボーや耽美主義に至り、メディアとしてのデザインを学ぶ

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 西洋美術史を学ぶにあたって
- 2 原始美術・メソポタミア・エジプト
- 3 クレタ・ギリシャ美術
- 4 ローマ帝国とビザンティン美術
- 5 中世美術とロマネスク
- 6 ゴシック美術と初期ルネサンス
- 7 北方美術と盛期ルネサンス美術
- 8 マニエリズムとバロック美術Ⅰ
- 9 バロック美術Ⅱとロココ美術
- 10 フランス革命と主義の時代へ
- 11 新古典主義・ロマン主義・写実主義
- 12 印象主義以降
- 13 世紀末芸術
- 14 アーツ アンド クラフツとアールヌーボー
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
短文による理解度の評価

【教科書・参考書】

『西洋美術史』高階秀爾 美術出版社 2002年度版、各時代の関連プリントの配布

【教材・教具】

筆記用具、ノート、作文用紙

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースパターン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50%
時間数	60	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】
 将来アパレル業界での活躍を目指す方が、実務に即した**「ファッションビジネスの基礎知識」を習得し、それを活用して「人を動かせる提案力」**を身につけることを目的とします。・前期：ショップリサーチを通じて、業界の専門用語や売れる仕組みの基礎を学び、既存ブランドの業務改善案を構築します。後期：前期の知識を土台に、マーケティングと経営的な視点（市場診断や差別化戦略）を取り入れ、新しいマーケットを発掘して新ブランドを企画・提案する力を養います。

【科目の概要】
 講義を通じ、単なる知識の暗記ではなく、実際の店舗観察（ショップリサーチ）とデータ分析を繰り返します。前期はVMDやSKUといった現場視点の基礎を固め、後期はSWOT分析やポジショニングマップを用いた戦略視点でのビジネス構築を学びます。

【授業計画】			
90分/コマ		前期	後期
1	業務フロー	16	業務フロー
2	ビジネス・マーケティング基礎	17	ビジネス・マーケティング基礎
3	業種と業態（SPA・セレクト）	18	業種と業態（SPA・セレクト）
4	店舗の広さとSKU管理	19	店舗の広さとSKU管理
5	マーケティング・ミックス（4P）	20	マーケティング・ミックス（4P）
6	売れる店づくり：VMDの基本	21	売れる店づくり：VMDの基本
7	レイアウトと導線設計	22	レイアウトと導線設計
8	オムニチャネルとCX	23	オムニチャネルとCX
9	顧客分析（RFM分析）	24	顧客分析（RFM分析）
10	異業種事例①：瞬足・新政酒造	25	異業種事例①：瞬足・新政酒造
11	異業種事例②：DXランドリー	26	異業種事例②：DXランドリー
12	希少価値とキャリア設計	27	希少価値とキャリア設計
13	プレゼン構成術（前期）	28	プレゼン構成術（前期）
14	前期プレゼンテーション	29	前期プレゼンテーション
15	前期フィードバック	30	前期フィードバック

【成績評価方法】
 提出物評価60％ テスト30％ 授業態度10％
 4回の提出物とプレゼンの評価。加えて授業態度にて評価します。

【教科書・参考書】
 1ヶ月以内に起きたファッションビジネスに関連する事例をもとに、それぞれのテーマで、まとめて配布します。『サンクス先生のファッションビジネスの授業（WEBテキスト）』『これだけは知ってほしいファッションビジネスの教科書（電子書籍）』など

【教材・教具】
 プリントを配布。パソコン・Google クラスルーム、スライド。